

## 九州国立博物館開館 10 周年記念紙発刊に向けての寄稿文

『日韓(福韓)新時代に向けて大いに語る会』開催から

日中韓首脳会議(第 1 回日中韓サミット)に至るまで

2015 年 4 月

一般財団法人 DEVNET Tokyo

代表理事 明川文保

平成 20 年(2008 年)韓国では、李明博氏が韓国の第 17 代大統領に就任し、当時の福田康夫総理大臣との間で、日韓シャトル外交を再開する事を決めるなど、日韓関係の新たな時代が始まろうとしていた。

私は、その年の 2 月 26 日、福岡県日韓友好議員連盟会長武藤英治氏、財団法人九州国立博物館振興財団専務理事廣崎靖邦氏、そして福岡県日韓友好議員連盟副会長でムライケミカルパック株式会社代表取締役村井正隆氏との 4 人で、韓国国会議事堂前広場を主に開かれた李明博第 17 代韓国大統領の就任式ならびに閣僚が揃った祝賀会に、福岡県代表として招待された。

そして、帰国後の反省会の席上で、「新大統領の就任に際し、日韓両国の重鎮を集めて福岡で盛大に祝賀会をやろうじゃないか。」との話が持ち上がり、早速 4 人で手分けして、その準備に動き出した。

福岡の政財官学界の重鎮を集め、そして韓国側で新大統領に極めて近い VIP を招聘するべく、私は 40 年来の親交があった韓国元大統領諮問委員劉鐘海氏に打診し、更に、韓国与党ハンナラ党国会議員孔星鎮氏にも話を持ちかけた。

当時孔星鎮氏は、ハンナラ党のソウル特別市委員長を務める実力者で、李明博大統領の選挙時には、獅子奮迅の活躍で、ソウル市において 140 万票を獲得する原動力となり、新大統領より絶大な信頼を受けていた。

私は、この孔星鎮氏と劉鐘海氏を日本へ招聘し、日本と韓国の新しい時代の幕開けをテーマにすばらしい会合を福岡で開くべく、その交渉に向けて訪韓し、両名から快諾をもらった。

そして、同年 5 月 27 日、福岡県議会棟レストランにおいて、「日韓(福韓)新時代に向けて大いに語る会」が開催された。

開会に先立ち、韓国の兩名が福岡空港に到着後、福岡近郊の百道浜やベイサイドプレイス、そして大宰府天満宮周辺を観光案内し、「明日、九州国立博物館をぜひ視察してほしい。」と強く訴えた。更に、「この博物館は最新鋭設備を備えており、韓国中国からも近く、また福岡空港からのアクセスに優れ、国宝級の展示品を定期的に入れ替え、全国的に非常に人気の高い博物館だ。韓国などの博物館は展示品を入れ替えず、永久的に収蔵している為、リピーターが少なく、修学旅行が主体ではないか？」と説明した。

そして、その夜、福岡県議会棟レストランで、約 150 名の来賓を迎え、盛大に「日韓新時代に向けて大いに語る会」が開かれた。

会合は大盛況の内に幕を閉じ、その翌朝、福岡市内のホテルニューオータニで、私と孔星鎮氏、劉鐘海氏、そして駐福岡大韓民国総領事金賢明氏の 4 名で朝食会を開き、その席上にて、私は孔星鎮氏に対し、「ハンナラ党の人脈を活かし、次期幹事長に就任してほしい。それが日韓両国の大きな政治力となる。」と進言した。

その後、私は所用で同行できなかったが、孔星鎮氏、劉鐘海氏は九州国立博物館振興財団の廣崎専務理事の案内により、昨日の依頼どおり九州国立博物館を視察した。

そして、その時期、日中韓首脳会議を年内に日本で開催する事が決まっており、その開催地に首都東京や李大統領が幼少期を過ごした大阪に近い兵庫県神戸市などが、その候補として取りざたされていた。

しばらくして、孔星鎮氏より私にハンナラ党幹事長に就任する旨、連絡があり、その後正式にハンナラ党幹事長に就任した。また、日本では私が知り得ていた情報通り福田総理が退陣し、麻生太郎氏が総理大臣に就任した。

私は、麻生総理就任後に、訪韓して劉鐘海氏に会い、「麻生総理は福岡県人であり、福岡は韓国中国に極めて近い事から、孔星鎮氏に『李大統領から麻生総理に、首脳会議は東京や神戸ではなく、福岡の九州国立博物館で行いたい。』と進言してほしい」と強く要請した。

そして、同年 12 月 13 日、麻生総理大臣、李明博韓国大統領との日韓首脳会談が福岡市内のホテルで行われ、九州国立博物館にて温家宝中国首相との日中首脳会談に続いて、三首脳による日中韓首脳会議が実現した。



# 日本一の博物館をめざして

～九州国立博物館開館10周年と財団のあゆみ～

九州国立博物館振興財団

# 2008年度 (平成20年度)

## 入館者数

■総入館者数	1,219,487人
■累計	5,766,044人
東博	2,171,942人
京博	416,001人
奈博	647,854人

## 組織

■理事長	鎌田 迪貞
■副理事長	河部 浩幸
■専務理事	廣崎 靖邦
■外理事	22名
■監事	2名
■評議員	11名
■事務局職員	3名

## 財団事業

- 6月 特別展「国宝 大絵巻展」  
図録作成支援
- 3月 開館3周年記念事業報告書、  
グッズ作成
- 10月 茶室「吉兆庵」部材一式を福  
岡県に寄贈
- 1月 特別展「工芸のいま 伝統と  
創造」支援
- 2月 「百済の美」写真展



国宝 大絵巻展(3.22~6.1) 131,197人



島津の国宝と篤姫の時代(7.12~8.24) 152,420人



国宝 天神さま(9.23~11.30) 174,698人



工芸のいま 伝統と創造(1.1~3.16) 72,637人

## 開館3年で570万人超 大口寄付者に3周年記念品 日中韓日帰り首脳会議 九博で異例の開催

開館3周年の年度になりさすがに開館時の熱気は冷めてきたが、4特別展のうち3つが10万人以上を集め、年度入館者は1,219,487人と財団目標の100万人台をキープし、累計でも570万人を超えた。

特に、過去2年間低調だった夏開催の特別展は、NHK大河ドラマ「篤姫」人気が呼び水となり152,420人を記録した。ネーミングをドラマに便乗して「島津の国宝と篤姫の時代」と急遽差し替えた主催者・NHKの大ヒットであった。

財団は開館3周年を記念して大口の寄付をしてくれた企業と個人に、3年間の財団の活動報告書とささやかな記念品を添えて感謝の気持ちを伝えた。

12月には3階展示室で第一回日中韓首脳会議がものものしい事前準備の下で開かれた。この3首脳会議の開催地九博の決定に際しては、財団もいくらか貢献したことが後日の裏話で判明した。それは財団の廣崎専務理事が、今年2月の李明博大統領の就任式に招待され、その後の大統領側近達と親密な交流が始まったことに端を発している。招待の返礼として時の幹事長・孔星鎮氏を福岡に呼び、講演会を開き、翌日九博をつぶさに案内していた事が大きな決め手となったと言う。

首脳会議の候補地は東京、神戸、福岡の3箇所まで密かに選定が進んでいた。その中で李大統領が「早く九博に賛同の声を挙げてくれたらいい。その影にいたのがこの孔幹事長とそのお膳立てをしてくれた日本の友人である。現に李大統領は「東京の麻生総理よりソウルの自分の方が早く着いた」とエピソードを披露し、九博の地の利の良さまで世界に発信してくれた。



3ヶ国首脳会議

## 財団手作りの大型写真展 “百済の美” 日本文化との類似性知る

大統領府を始め韓国との交流が多岐に渡っていた事もあり、財団に「百済写真展」の話が持ち込まれてきた。百済は4世紀から7世紀にかけて朝鮮半島南西部を中心に栄えた三国時代の国の一つで、当時「倭国」と呼ばれていたわが国とも密接な交流があった。660年、百済は唐・新羅の連合軍に滅され、倭国軍も白村江の戦いで大敗した。

### 世の中のできごと

#### 世界

- ミャンマー・大型サイクロンで14万人、中国・四川省地震で8万人の犠牲者(5/2.12)
- リーマン・ショックで100年に1度の世界同時不況(9/15)
- 第44代米大統領に民主党オバマ氏、初のアフリカ系黒人(1/14)

#### 日本

- 日本経済、株安・円安・原油高の三重苦
- 後期高齢者医療制度スタート(4/1)
- 福田首相も政権投げ出し、後継麻生太郎に(9/24)



特別展室が3ヶ国首脳会議場に(12月13日)



「寫眞展」は知恵の勝利



4階常設展にごそ九博の碗



百済の美写真展開会式(09年2月24日)



韓国一級国宝 金銅大香炉(左)と半跏像(右)



百済写真展の大型パネルに見入る来場者

百済を追われた遺民たちは九州を中心に倭国に落ちのび、わが国の国づくりに官吏として重用される者や、自国の文化・芸術・技術等を広める者など多方面にわたった。

写真展の作品は、韓国在住の国際派カメラマン・崔明準氏が韓国内の国立扶余博物館が所蔵する、まさしく百済遺産の仏像などを撮影し、大型パネルに引き伸ばしたもので、計15点が展示された。中でも注目を集めたのは、韓国最大級の国宝「百済金銅大香炉」と、「東洋の微笑み」と呼ばれる「金銅弥勒菩薩半跏像」であった。日本の仏教文化が百済のそれいかに影響を受け一体化していたか、来館者の視線を引きつける迫力ある写真展となった。

この写真展はその後、宮崎県・西都原考古博物館と熊本県立美術館に財団からも同行し巡回展示された。特別展の集客対策として財団が手造りで企画したものであるが、出品交渉から輸送、会場設営、ポスター作成等まで自主運営し、その後の本格的な公益事業活動のモデルとなった。

## マスコミの不満「国博420円問題」解決の糸口なし 先進国で出遅れ「国家補償法」も財務省の壁

3年間の博物館行政の中で、財団は様々な矛盾や不合理に対して問題提起をしてきた。その中の1つが全国共通の「国博420円問題」である。この問題は主催のマスコミ各社が館側に訴える不満である。即ち特別展の大人平均入場料1,300円から自動的に常設展への入場があったとみなされ420円が館に徴収される長年の国博4館の慣例である。主催のマスコミ各社の収支を大きく圧迫するので、マスコミ各社の資金面からの特別展への質の低下を防ぐ意味から、財団は文化庁長官にも改善を求めたが結局結論は先送りされ現在に至っている。

もう一点が「国家補償法」の制定である。これは海外からの文化財に対して国が保険料も含めて貸借関係も保証するという制度である。先進民主国家でこの法律がないのは日本だけである。このため台湾は中国政府の横槍を恐れて日本には台北故宮の文化財を貸し出せないというのである。財団としては地元自民党有力者に協力を要請したが財務省の反対で法律制定は実現していない。これらの問題提起はいずれも日本一への環境作りである。

この年3月、不幸な事ではあるが、九博屋外空調機からアンモニアが大量噴出し、作業員1人が死亡する事件が起きた。

### 私とさゆうはく

日中韓3国首脳会議舞台裏

明川 文保

財団DEVNET日本国総代表



年末、九博で日中韓3国首脳会議が開かれる事になった。紛れもなく私達が仕掛けたこの一年間の成果である。2月に私は九博財団の廣崎専務理事ら4人で、李明博第17代韓国大統領の就任式に福岡県代表で招待された。その返礼にハンナラ党幹事長の孔星鎮氏と大統領側近等を福岡に招聘し、県議会棟で「日韓新時代を語る会」を開き150人が参加。翌日孔幹事長らに九博を視察してもらっていたことが幸いした。日中韓首脳会議が持ち上がった時、私は孔幹事長に「麻生総理は福岡だ。李大統領から会場は福岡の九博が良い、と進言して欲しい」と伝えた。孔幹事長から「事前に見てよかった。進言した」との知らせが来た。そして「日帰り首脳会議」は実現したと聞いている。

### 福岡・九州

- 白川方明小倉出身で(第30代)日銀総裁に(4/9)
- 新幹線長崎ルート起工式(4/26)
- 王監督退任、後任に秋山幸二氏(10/2)

### スポーツ

- 北京五輪ソフトボールなど日本勢活躍、北島康介五輪2大会連続2種目制覇(9/3-24)
- WBCで日本が2連覇(09/3/23)

### その他

- 「船場吉兆」賞味期限偽装で廃業(5/28)
- 南部陽一郎、小林誠、益川俊英、下村脩日本人4名ノーベル物理学賞・化学賞受賞(10/8)